

生活交通に関する 民生委員児童委員アンケート調査

集計結果

平成28年11月

目次

I. 調査の実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査項目	1
4. 調査票の配布・回収の状況	1
5. 本報告書の数値の取り扱い等について	1
II. 調査結果	2
1. 受け持ち地区における高齢者の移動手段の状況について	2
(1) 高齢者の交通手段	2
(2) 移動支援	3
2. 受け持ち地区における高齢者の移動の問題について	4
(1) 高齢者世帯数と移動で困っている割合	4
(2) 移動で困る世帯の移動手段	5
(3) 移動支援に資する工夫やアイデア	6

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

福山市及び笠岡市の地域交通のあり方を検討するにあたり、高齢者等の日常生活を支援する民生委員児童委員に対して、移動支援に関する意見などを把握することを目的に、アンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

- 調査対象 福山市内の民協区会長（34名）、笠岡市内の民生委員児童委員理事（16名）
- 調査方法 連合民生・児童委員協議会理事会の際に手渡し配布・郵送回収
- 調査時期 福山市：平成28年9月2日（金）～平成28年9月16日（金）
笠岡市：平成28年9月7日（水）～平成28年9月21日（水）

3. 調査項目

- 質問1：受け持ち地域
- 質問2：地域の高齢者の移動状況
- 質問3：移動にかかる問題及び意見

4. 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 50件（福山市：34件、笠岡市：16件）
- 有効回収件数（率） 40件（80.0%）（福山市：29件（85.3%）、笠岡市：11件（68.8%））

5. 本報告書の数値の取り扱い等について

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

Ⅱ. 調査結果

1. 受け持ち地区における高齢者の移動手段の状況について

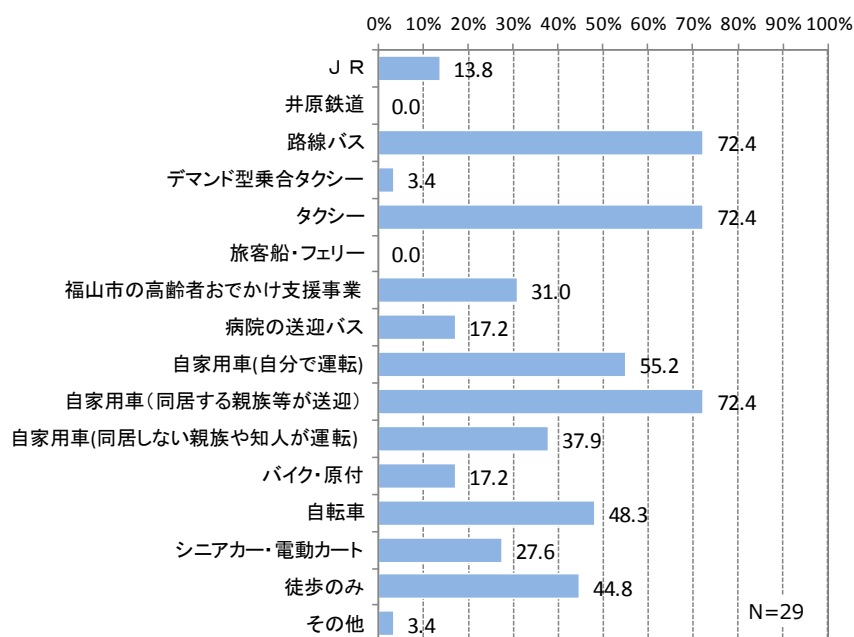
(1) 高齢者の交通手段

質問2 ①受け持ち地区における、1人で外出できる高齢者の買物、通院などの交通手段。
(該当するもの全てに○)

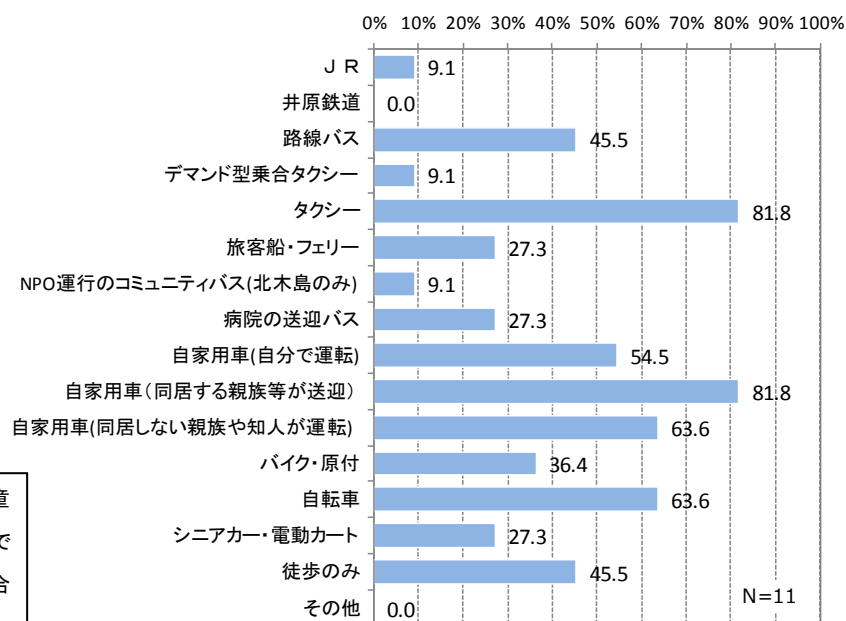
○両市ともにタクシー、自家用車(同居する親族等の送迎)が多い。また福山市では、路線バスを利用する割合も同様に高い。

○自分で自家用車を運転するという回答は、両市ともに5割強。

■福山市



■笠岡市



※結果は、回答した児童委員民生委員の割合であり、高齢者数の割合ではない

図 高齢者の買物・通院などの移動手段

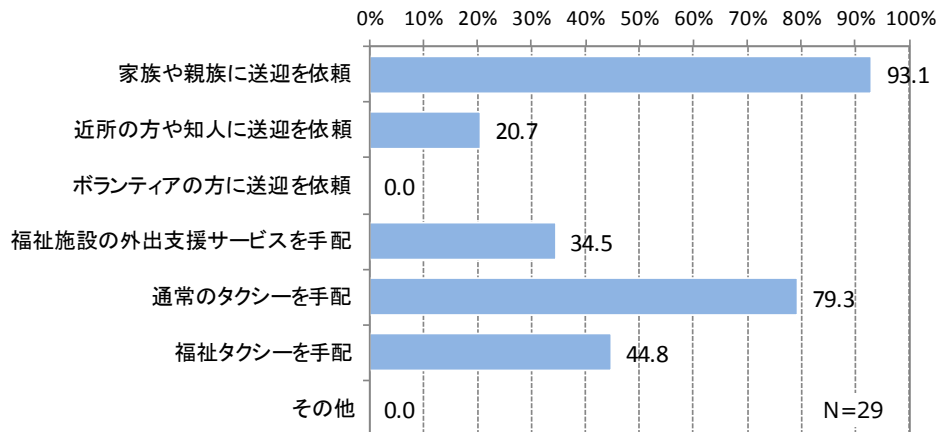
※複数回答

(2) 移動支援

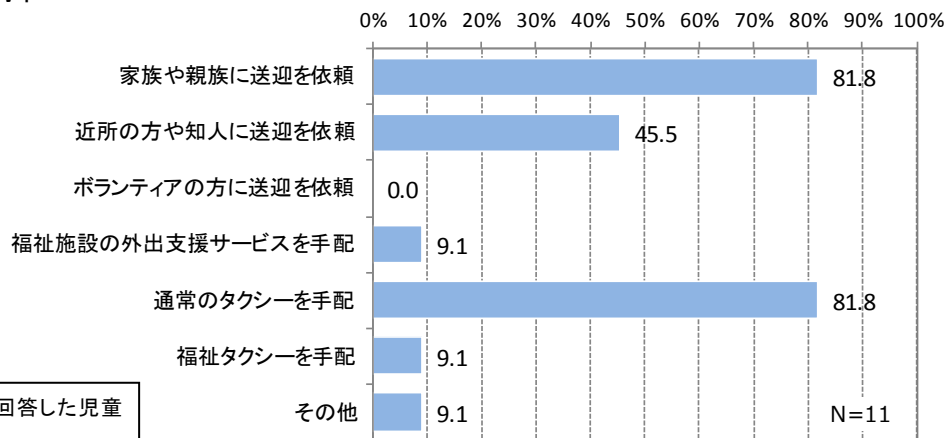
質問2 ②1人での外出が困難な方が受けている移動の支援。(該当するもの全てに○)

- 買物・通院の移動手段の結果と同じく、家族等の送迎や一般タクシーが多い。
- 福山市では、福祉施設の移動サービスや福祉タクシーの回答も比較的多い。
- 笠岡市では、近所や知人に送迎を依頼するという回答が比較的多い。

■福山市



■笠岡市



※結果は、回答した児童委員民生委員の割合であり、高齢者数の割合ではない

※複数回答

図 1人での外出が困難な方が利用する移動支援

2. 受け持ち地区における高齢者の移動の問題について

(1) 高齢者世帯数と移動で困っている割合

質問3 ①受け持っておられる地区で、民生委員児童委員が訪問している高齢者の世帯数。
②そのうち移動手段がなくて、お困りになっている高齢者の世帯の割合。

○移動に困っている割合は地域により様々だが、多いところで7割、9割といった回答もあり、現状で移動に困る高齢世帯が多いと思われる民生委員児童委員が確認できる。

■福山市		■笠岡市	
訪問する高齢世帯(世帯)	移動に困る割合(割)	訪問する高齢世帯(世帯)	移動に困る割合(割)
1,033	2	130	9
998	0	40	2
997	0	30	1
991	1	20	7
958	1	20	1
933	3	15	1
844	4	10	3
844	4	10	3
786	1		
779	1		
751	4		
714	3		
649	2		
608	1		
584	3		
557	2		
513	7		
479	0		
450	2		
438	4		
434	7		
409	4		
401	3		
294	3		
245	2		
239	7		
225	1		
202	3		

※訪問世帯が多い順にソートしている

※福山市における訪問する高齢世帯数は、別途調査結果（2015年）

図 訪問する高齢者世帯数と移動で困っている割合

(2) 移動で困る世帯の移動手段

質問3 ③移動でお困りの世帯の通院や買物などの移動手段。

- 両市ともに一般タクシーの利用に頼っている状況にある。
- 通院では、医療機関による送迎を活用される場合も多い。また買物では、自宅付近まで訪れる移動販売を利用するという意見もある。

<主な意見>

- ・タクシーを利用。(経済的に大変。行きは徒歩、帰りはタクシー利用と工夫)
- ・バスを利用。(停留所までの徒歩に要注意、又、回数が少なく不便)
- ・デマンド型乗合タクシーを利用。
- ・家族や親族に送迎を依頼。
- ・病院、診療所へ電話すれば送迎がある。
- ・一部地区では福山市高齢者おでかけ支援事業を利用。
- ・買物を近所の方や知人に依頼。
- ・買物は移動販売(毎週1回)が町内へ来る。
- ・福祉タクシーを利用。
- ・シニアカーで移動。
- ・島外への通院等では、移動が難しい人は家族が付き添う。(家から島の港まで、船への乗降、笠岡に着いてから病院までの移動)

など

(3) 移動支援に資する工夫やアイデア

質問3 ④高齢者等の移動に関して感じている問題点や、これからの本市において、高齢者などがより便利に暮らしていくために必要だと思う移動手段の工夫・サービスなど。

- 各地域（自宅付近）と、病院・買物先とを結ぶような、小型車両を用いた交通システムの導入など、多様な意見があがっている。
- 福祉関連の意見や、また住民主導で移動を守る取り組み（ボランティア、共助）に関する意見もある。

<主な意見>

■福山市

- ・既存バスの便数の充実。
- ・「まわローズ」のコースや地域を広げ、市民が利用しやすくする。
- ・学区（公民館）等から、スーパー、病院のコースでまわる定期バス（マイクロ・低床）の開設、又はボランティア、外出支援サービス。
- ・ドア to ドア、安価、自由度の高い移動手段。例えば、バスとタクシーを合体させた「福祉バス」のようなシステム。利用者が登録し、パスポート発行。利用者センターに連絡。その時間帯での利用者宅を順次廻って目的地へ向かう。
- ・タクシー割引制度。移動距離によって割引率を調整。
- ・お出かけ乗車券のサービス向上（75才以上の全員にバスの無料パス券を支給するくらいのサービス）
- ・福山市高齢者おでかけ支援事業の充実。
- ・福祉タクシー、福祉施設の支援サービスの充実。
- ・買物や医療が自宅でできるように、訪問介護事業の展開。
- ・自宅訪問介護を充実させる。その中で会話をしながら買物等日常生活を手助け。
- ・小規模多機能サービス付高齢者向け住宅を利用する。
- ・地域（町内会）毎のボランティア、地域内での協力、声かけが必要。
- ・「支える側・支えられる側」という垣根を取り払い、自助・互助・共助の仕組みづくり（移動や体力がいる事は若い人が支え、高齢者ができる事（縫い物、直し物や料理）などをボランティアとして活動）

など

■笠岡市

- ・路線バスの便数の充実。
- ・JR笠岡駅前より病院、スーパー等を巡回する小型バスの運行。
- ・タクシーの様に、乗る人の行き先を聞いて、門先まで送迎できるようなシステムの構築。
- ・デマンドタクシーの制約（時間、回数、経済的負担、行き先 etc.）に対応した改善。地域ニーズを踏まえて、まちづくり協議会等が協力し、利便性の向上に努める。
- ・移動販売車の運行。
- ・有料ボランティアの送迎車の登録。
- ・月に一回の往診。
- ・病院に通う時など付き添い（必要な人が今後増えると思う）。
- ・道路の整備

など